Town Topics

初日とともに走る



1月1日、輝北運動場で『初日 とともに走ろう会』が開催されま した。

走ろう会には、家族連れなど約100人が参加。午前6時30分に薄暗い中をスタートし、白い息を吐きながら思い思いのペースでグラウンドや特設コースを走りました。 待望の初日は悪天候のため拝めませんでしたが、準備されたぜんざいで体を温めながら、家族の健康と幸せを祈願しました。

奇冊&原屋

青色回転灯をつけて防犯活動



12月22日、吾平町地域安全パトロール隊と池園町地域安全パトロール隊に、鹿屋警察署から青色回転灯の標章が交付されました。

パトロール隊は、地域を安心・ 安全なまちにしようと、それぞれ の地区で自主的に組織された団体。 交付を受けると、早速、青色回転 灯を点灯させたパトロール車が町 内の防犯パトロールに出発しまし た。今後は、町内を巡回して防犯 活動を行う予定です。

第17回串良町 生涯学習町民大会



12月18日、「学びの輪 ひろげて ふくらむ 夢・未来」をテーマに 串良町民会館で第17回串良町生涯 学習町民大会が開催されました。

大会では、各種表彰をはじめ、生 涯学習の成果発表や総合医療研究 所の金華洙所長による基調講演が 行われました。

また、会場では、カントリードールやアートフラワーなどの作品や、町内PTAの取り組み状況のパネルも展示されました。

KUSHPAR

中山用水をきれいにしよう



11月26日、串良町の中山用水で 草刈りやゴミ拾い等のボランティ ア活動が行われました。

中山川をせき止めて造られた中山用水は、下流域108haを潤すほか、防火用水としての機能を持つ地域の大切な資源。ボランティアは、この中山用水をきれいにして、その機能を再認識しようと行われたもので、地元建設業者など120人が参加し、軽トラック2台分ものゴミを収集しました。

3遺跡で貴重な発見相次ぐ!

地下式横穴墓を 30 基発見!



12月18日、市道整備に伴う薬師堂古墳(西祓川町)の発掘調査で発見された地下式横穴墓30基の現地説明会が行われました。

この地下式横穴墓は、南九州独特の墓制であり、近隣の町でも発見されるものの、これほど密集して見つかったのは県内でも初めて。出土した土器等から5世紀半ばから6世紀初めの古墳時代に作られた集団墓であると推測され、市教育委員会では、「大隅半島における古墳時代の様相解明の参考になれば」と期待しています。

全国でも3例目の 地下式横穴墓を発見!



12月17日、前方後円墳の岡崎15号古墳(岡崎東)で発見された地下式横穴墓3基の現地説明会が行われました。

発見された3基の地下式横穴墓のうち、2基は前方部と後円部の両くびれの部分から、1基は前方部の裾端部から見つかりました。前方後円墳に接っなかたちで見つかったのは県内の2例に次ぐ3例目。くびれ部分は祭りに使われた重要部分であることから、埋葬された豪族と密接な関係にある人物の考古学ファンが訪れました。

図書館エッセイコンテスト表彰式



12月10日、市立図書館で、本を 読む楽しさや文章を書く楽しさを 知ってもらおうと毎年行われてい る第9回図書館エッセイコンテス トの表彰式が開催されました。

特選受賞者は、次のとおりです。 (小学生の部) もりやまひろき、まつ下りょう、つるぞえのどか、 祗園下真織、福地周人、米田裕佳 (中学生の部) 祗園下隆一朗 (一般の部) 吉田久美、上村泉

友愛タオルを寄贈



12月15日、鹿屋市老人クラブ連合会が鹿屋小学校に「友愛タオル」約100枚を寄贈しました。

これは、市内の老人クラブでつくる同連合会が、教育の現場で幅広く活用してもらえればと、会員から集めたタオルを「友愛タオル」と名付けて贈ったもので、10年ほど前から毎年行っています。このほか、同連合会では、鹿屋地区内の全小学校や福祉施設などにもタオルを寄贈する予定です。

阪神タイガース入団を報告



12月27日、阪神タイガースに入団の決まった前田大和選手(樟南高校3年、下祓川町出身)が、鹿屋市役所を訪れ、入団を報告しました。

身長176cm、体重66kgの前田選手は、遠投120mを投げる強肩の持ち主で、阪神タイガースでの背番号は66番に決まっているそうです。「1日でも早く一軍にあがって甲子園でプレーできるように頑張りたい」と抱負を語ってくれました。

いちご狩り』が 始まりました



12月24日、吾平町上名の黒羽子 観光農園で、いちご狩りが始まり ました。

同農園の管理組合によると「今年のいちごも甘さは十分!」ということ。約60アールのビニールハウス内には、真っ赤な甘い「とよのか」が、たわわに実っており、5月の初旬までいちご狩りを楽しむことができるそうです。

開園時間 午前9時~午後5時入場料 無料

人を描いた土器を発見!



吾平町下名の名主原遺跡の発掘現場で、盾や飾りつきの棒を持つ人物が描かれた弥生時代の絵画土器片が整理作業(水洗い)の時に発見されました。

この土器片は、弥生時代末期の2世紀後半から3世紀初めに作られ、祭事の時に使用された小型つぼ型土器の一部とみられており、国立歴史民族博物館の春成秀爾教授によると「戦いを模した祭りの様子ではないか」とのこと。人物と特定できる絵が描かれた絵画土器の発見は県内では初めてのことです。

地下式横穴墓とは…竪穴を掘った竪坑と、その穴の底から横方向に掘り進めた遺体を収める玄室で構成される墓のことで、埋葬した後は、羨道という玄室の入り口を土のかたまりや軽石等でふさぎ、竪坑部を埋め戻します。

19 KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS OF THE PUBLIC RELATION